

動労千葉を支援する会

ニュース

2023.11.20
387

動労千葉を支援する会事務局

千葉市中央区要町2-18 DCC会館

〒047-2020

メールアドレス dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

〒015013192036



11・19 全国労働者総決起集会 改憲阻止！1万人大行進

ガザ虐殺やめろ！

東京・日比谷野外音楽堂で11月19日、全国労働者総決起集会／改憲阻止！1万人大行進が2800名の結集で開催された。国際連帯の訴えでは、在日パレスチナ人、韓国・民主労総ソウル地域本部、米国際港湾倉庫労組（ILWUローカル10）の現場組合員、ドイツ鉄道労働者ネットワーク、在日ミャンマー人などが登壇し、労働者の国際的団結を熱烈に呼びかけた。

今年の11月集会は、イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区の虐殺阻止を国際労働者階級の喫緊のテーマとして闘うこと、ウクライナや東アジアなど世界戦争情勢を止める闘いが労働組合の本質的課題であることを確認し、また労働者国際連帯こそ戦争を止め、社会を変える力であることを実感させる集会としてかちとられた。また集会で



3労組と民主労総が「韓日労働者共同声明2023」を読み上げた

は、韓日労働者共同声明とパレスチナ連帯決議が採択された。



呼びかけ労組である港合同が開会のあいさつ、関生支部が特別報告、動労千葉の関委員長が基調報告を行った。連帯あいさつを三里塚芝山連合空港反対同盟の市東さん、「希望の牧場・ふくしま」の吉沢さん、東京・過労死を考える家族の会の中原さん、賛同団体から社会民主党千葉県連合代表の工藤す

国際連帯の訴え 在日パレスチナ人、民主労総、ILWU、ドイツ鉄道労働者ネットワーク、在日ミャンマー人等が登壇



多くの海外の仲間がデモに合流

ず子さんからいたただき、ガザ出身の在日パレスチナ人の渾身の訴えなど国際連帯の訴え、国鉄闘争や職場からの報告、改憲・戦争阻止！大行進の高山弁護士などの訴えなどが行われた。国鉄闘争全国運動呼びかけ人の金元重さん



デモコース：日比谷公園～新橋～銀座～東京駅～常盤橋公園

がまとめを行った。
海外の仲間がデモに合流
集会後、銀座デモに出発。呼びかけ3労組を先頭に多くの在日・滞日外国人もデモに合流し、「ガザ大虐殺をやめろ！」と訴えた。

パレスチナの労働組合の呼びかけと
動労千葉の連帯メッセージ

パレスチナ労働組合の仲間の皆さん、

私たち動労千葉は、パレスチナ労働組合の呼びかけに応え、岸田政権のイスラエルに対する武器供与、資金援助など如何なる支援行為をも許さず闘います。

米欧日の帝国主義は、自らの危機のはけ口を戦争・世界戦争に求め、その先兵としてイスラエル、ウクライナの現政権を煽り立てています。

また東アジアでは、米日帝国主義は、「台湾有事」を口実として対中国戦争の策動を激化させています。

パレスチナ人民の決死の闘いを心より支援すると共に、人民抑圧と戦争の元凶たる国際帝国主義の一員である日本帝国主義・岸田政権の打倒に向け、全力で闘い抜きます。



Dear friends of the Palestinian trade unions,

We, Doro-Chiba (National Railway Motive Power Union of China) will respond to the call of the Palestinian trade unions and fight through to bring down the Kishida administration intending to provide weapons, financial aid, or any other kind of support to Israel.

Imperialism of the United States, Europe, and Japan seeks an outlet for its own crisis in war, a world war, and is agitating the current governments of Israel and Ukraine as its vanguard. And in East Asia, US and Japanese imperialism is intensifying a war scheme against China more than ever, using the "Taiwan contingency" as a pretext.

We wholeheartedly support the fierce struggle of the Palestinian people, and we will fight with all our might to overthrow the Kishida administration, a member of international imperialism: the cause of oppression of the people and the cause of war.

In heartfelt solidarity,

October 26, 2023

National Railway Motive Power Union of China (Doro-Chiba)

President
Mitsutoshi Seki

<https://doro-chiba.org/english/english.htm>

動労千葉委員長 関 道利

パレスチナ労働者から友人、同志のみなさん

連帯のメッセージを送付頂き、ありがとうございます。

世界中から寄せられるメッセージに、本当に勇気づけられています。

私たちの闘いへの支援として、みなさんに以下の点をお願いできればと思います。

パレスチナの呼びかけに応える行動提起を含む連帯声明を、レーターヘッド付文書としてホームページ上に公表して頂きたい。

貴文脈から想像するに、日本の兵器産業に抗するネットワークの人々と、何処で行動を起こすことができるかを調査・検討して頂きたい。貴闘いの領域の中で、最も効果的な行動があるのではないかと思います。

これらのことがみなさんの闘いに役立つようならば、喜んで交信を続けさせていただきます。

変わらぬ連帯を込めて、
パレスチナ労働者

伊藤忠とNSAはイスラエル

との軍事協力をやめろ！

12・1 抗議行動

12月1日(金) 午後2時 伊藤忠アビエーション

東京都港区赤坂2・9・11 (溜池山王駅近く)

午後4時 日本エアークラフトサブライン(NSA)

東京都新宿区愛住町3・3 (四谷3丁目駅近く)

呼びかけ 改憲 戦争阻止 大行進 / 動労千葉

次期社長人選「カギは労組対策」 今年度末にも紹興酒事件の喜勢副社長に交代か

JR東日本の社長任期は通例6年です。深澤社長は就任6年目で今年度末にも交代とされています。次期社長候補の筆頭が喜勢陽一副社長です。その理由は「労働組合対策の功労者だから」です。

業務融合 職名廃止も

「組合対策」

JR東日本の労務政策が決定的に変わったのは、18年2月の東労組に対す



次期社長候補の筆頭といわれる喜勢陽一副社長。22年の喜勢副社長主催の懇親会では社員が救急搬送される事態に

る「労使共同宣言失効」の通告からです。会社は管理職を中心にした露骨な労組脱退工作を行い、社友会に労働者を加入させて、徹底して労働組合を解体しようとしてきました。

この過程で、喜勢副社長は経営陣に東労組との決別を強く進言し、労使共同宣言失効への流れを作ったとされています。業務融合化や職名廃止を主導したのも、喜勢副社長です。その目的も「組合運動につながることを防ぐため」だったと語られています。

“紹興酒事件”でも

労組対策優先

喜勢副社長は労務対策で出世してきた人物です。一方、コロナ禍中の22年6月には自身が主催の懇親会で紹興酒を30本以上あげ、救急車2台が出勤し、参加した社員が救急搬送される事態となりました。

喜勢副社長は「乾杯とは杯を乾かすこと」と発言し、参加した社員は「勧められるがまま飲まざるを得なかった」と報じられました。

しかし、JR東日本は何と「飲酒の強要はなかった」と発表しました。会社はこうした問題を起こした人物をかばってまで、「労働組合対策」を優先しています。

職場に闘う労働組合を

会社がここまで労働組合対策にこだわるのは、逆に言えば、そこに会社の攻撃を打ち破り現状を変える力があるからです。

そごう・西武労組のストライキは大きな支持と注目を集めました。世界中で大規模なストが相次ぎ、米財務省は「労組が賃金を10〜15%押し上げる」との見通しを示しています。

日々、列車を動かす、鉄道の安全を守っているのは現場労働者です。一人ひとりの団結の力にこそ、会社の攻撃を阻止する力があります。

職場に闘う労働組合を取り戻そう。

「しまかすな！ CTS笹本総務部長陳述書の

ウソを暴き出せ！

11・22千葉地裁証人尋問闘争へ！

11月1日、65歳以降の雇用延長拒否・
動労千葉排除をめぐり新たに10人の組
合員の雇用継続を求める裁判闘争を開
始した。

さらに、11月22日には先行する裁判



11月22日(水)集合9時40分
千葉地裁601号法廷

での証人尋問が行われる。組合側から
関委員長、渡辺書記長、山田護特別執
行委員、山田繁幸特別執行委員、会社
側からCTS笹本総務部長が証言する。
その他の証人については尋問後に判断
されることとなった。

ウソをつくな！

とくに笹本部長の陳述書はウソとご
まかしばかりだ。例えば陳述書では65
歳を迎えたエルダー社員の数に対して、
65歳以降もCTSが雇用した人数がわ
ずか(特に16年度以降)であることが
表で示されている。だから、「65歳以降
も雇用する慣行はなかった」というの
だ。

だが、実際にはこれまで65歳以降の
雇用を希望すれば、基本的に全員が採
用されてきた。16年度からの数年で継
続雇用された人がそれまでより減った
のは、そもそも65歳になる人が少ない
時期だからだ。

一方、再び65歳になる人数が増えた
21年度、22年度はまったく雇用されて
いない。これこそJR・CTSが意図
的に雇用継続を拒否していることを示
している。(18年度は65歳になった4人
中2人を雇用継続したが、21年度28人、
22年度30人に対して雇用継続は0人)
また、笹本陳述書は雇用拒否の理由
を「要員が足りていて雇用する必要が
ないから」としている。現場にいれ
ば誰もがウソだと分かることを、のう
のうと語っている！ 現にどの事業所
もハローワークで募集し続けているで
はないか。

その一方で、天下りの所長・副所長
だけは「要員が足らず、これから雇
用継続させる」と書かれている。どこ
までもふざけている！ 余っているの
は管理者の方だ！

11・22千葉地裁へ

組合側からの証言では、会社が動労
千葉の闘い、とくに外注化阻止闘争を
嫌悪していることがJR・CTSによ
る雇用拒否の理由であることを明らか
にする。また、団交の過程でCTSが
いかに不当な対応を続けたかを追及す
る。



千葉市葭川公園で70名で集会

パレスチナ侵略戦争・ガザ大量虐殺やめろ！
11・3千葉市内デモが大成功
 11月3日、千葉市内で、「パレスチナ侵略戦争やめろ！パレスチナ人を殺すな！ウクライナ戦争絶対反対！岸田政権打倒！11・3集会とデモ」が70名の結集で行われた。
 イスラエル軍によるガザへの大空爆と本格侵攻によって、子供をはじめ死者は一万人以上に及んでいる。世界中でガザ空爆に反対する大デモが起こる中、国際連帯の一環として闘われた。

はじめに改憲・戦争阻止大行進千葉の事務局から基調報告が行われ、「イスラエル政権はパレスチナ人を『人間の顔をした動物』だと公然と大虐殺を行っている。これは『ジェノサイド』であり『民族浄化』だ。絶対許してはならない。怒りをもって今日の闘いを貫徹しよう！」と訴えた。

次に、動労千葉からは佐藤正和副委員長が発言した。「ウクライナ戦争、中東・パレスチナへの戦火の拡大は世界各地でイラク戦争以来の大反戦闘争が起きている。岸田政権は、アメリカと



に、『反戦の砦』だ。11月労働者集会の大成功を勝ちとろう」と訴えた。三里塚空港反対同盟から伊藤信晴さんがパレスチナ人民の血叫びに答える反戦闘争の爆発を勝ちとろう。今日はその出発点だ」とあいさつ。全学連の学生、百万人署名運動千葉、千葉県反戦青年委員会などがリレートーク。

14時にデモが発し、繁華街では多くの市民からの注目と共感が寄せられた。一体となつて対中国戦争へと突き進んでいる。10月14日から日米合同軍事演習「レゾリユート・ドラゴン23」が行われている。沖縄・南西諸島の戦場化を前提とした対中国戦争に向けた大規模実動訓練だ。労働組合は労働者の生活と権利を守る拠りどころであると同時に